

日刊 磐城時報

印刷所 磐城時報社 印刷部 磐城時報社 発行所 磐城時報社 代印所 磐城時報社

平驛待合室の怪賊は 三十歳前後の男

目撃した中學生の談 犯人の手掛りなし

東京市日本橋區三丁目三番地種間等水も洩らさぬ警戒線を張つ 屋丹平商會外交員小山政一(二)が七日に至るも犯人が逮捕さ

聚樂館で大众的に 會我氏の慰勞會

十一日午後二時開催

平第一小學校長會我直治氏は既十一年間平町教育の振興刷新に 報の如く後進の途を開くため退盡力、常に卓越した手腕を揮ひ

長谷部少將 滿蒙講演會

平町國防研究會では十七日午前 九時から第三小學校に於て第二 師團第三旅團長長谷部少將を招

梨荷造品評會

石城郡の梨は近年著るしく聲價 を高め販路も擴張されたので裁 培者も増加し本年の如きは五十 萬貫、十餘萬圓の産出を豫想さ

齒科醫國勢調査

齒科醫の國勢調査は十月一日を 期し全國一齊に行はれるが、平 町の方面の向上を計る事になつ

百万圓の富を築いた 立志傳中の百澤翁

一生を通じ努力の人

一代の成功家として百澤易興氏 の如きは石城地方に於て殆んど 數へる程しかない。その富は平 町に於て二三位に争ふ處、而も 虚手空拳に努力の汗と脂で築

濱三郡木炭組合 書面で存続の決議

役員は當分従前通り

金澤所長 江名も兼務

昭和産業 營業開始

濱三郡木炭同業組合は既報の如 く従前通り存続する事に決定し

傳染病豫防のため 平署で戸別調査

有熱患者三十名發見 七名は腸チブスと決定

平町人事

出生 茨城縣助川町平町紺屋町六三 仁平正義二男陸男

出た立志傳中の入平町四丁目百 澤易興氏は兼て外聽道腫瘍を病 一萬六千圓で増築中の四倉校

濱三郡木炭同業組合は既報の如 く従前通り存続する事に決定し

濱三郡木炭同業組合は既報の如 く従前通り存続する事に決定し

濱三郡木炭同業組合は既報の如 く従前通り存続する事に決定し

濱三郡木炭同業組合は既報の如 く従前通り存続する事に決定し

### 四倉驛の乗客増加

四倉驛八月中の成績は、貨物發送八千九百六十五噸三分、到着一万二千六百八十三噸九分、發送賃金二万八千八百六十八圓〇八錢、乗車二萬九千七百五十八人、降車一萬九千九百〇九人、乗車賃金六千〇七十三圓三十六錢、手荷物發送一千二百六十五個、到着一千八百三十五個、小荷物發送四百六十六個、到着一千二百個、手小荷物發送賃金百八十四圓七十二錢

昨年八月に比較すると乗車人員は四千七百一十一人、賃金に於ては七百二十一圓六十九錢の増加で、一日平均七百二人である。

### 傳染病發生

飯野村谷川瀬吉の作草野ツメ(二五)江名町南町坂本由勝(十四)は腸チブス、平町白銀町樋口信保(四ツ)は疫病、湯本町吹矢田中サト(十三)は赤痢と決定した。

### 打ちあげ話

先だつて徴兵検査で、平へ郡下から何白人といふ壯丁が集つたが、宿屋の二階手すりからは、往來の女をヒヤカシ、夜陰になると、隊伍をなして飲み歩くといふ勢、其だ豪傑横行のていだつた。一日僕が湯屋へ行くとき、いや居るは、がやん、芋を洗ふやうな騒ぎ、それだけ言ふことも活氣あり、稍もすれば性的冗談が多い『男に子宮病ッてあるのかい』いや俺は女にセンキは有るまいと思ふ、アツ、ハツハツハ』てな譯。あんなのが選ばれて軍服を着ると、天晴國家の干城、世界無比の陸軍だなんて偉ばるのかと思ふと、何んだかクスグツクイ様な氣がした。

### 室内衛生完備・短時間仕上



アメリカ式美顔術 和洋結髪  
シャンプー 毛染  
マニキュア 御婚禮化粧着附

平町田町五  
研美院  
高橋輝子

夜間診療

**腸胃病** 内科  
**性病** 皮膚病科  
花柳病科 性病科  
婦人科

**専門**

松村村松 性病腸胃病科  
院醫科 (番七〇一電 町南町平)

### 吸入用酸素

純度 99%

モノサシ 体温器  
マカス 寒暖計  
ハカリ

●寫眞 關内藥局  
●秤ノ取緒・錘系・修覆致シマス  
●材料一式

電話四〇番

### 耳鼻咽喉科専門

平町田町七十番地  
山内醫院  
醫學士 山内亨 吉  
病室完備 電話六九一

外務社員採用  
初任固定給 月三十圓  
廿五才以上 男女を問はず  
履歷書携帶左記へ 面會毎日午后  
平町田町一七  
レストラン サロン方  
仁壽生命平駐在 吉田仁三郎  
電話三五二番

### 藤沼醫院

内科 小兒科 (入院應需)  
花柳病科

平町紺屋町  
電話平園五〇七番

父易興儀豫て病氣の處養生不相叶  
六日午後十時四十五分永眠致候間御通  
知に代へ此段謹告仕候  
追つて葬儀は来る十日午後二時出棺良善寺に於  
て佛式相營み可申尙遺志により供花放鳥等御辭  
退申上候  
九月七日  
平町四丁目  
嗣子 百澤才八郎  
親戚總代 加藤丈夫

### 耳鼻咽喉科専門 鈴木醫院

醫學士 鈴木正男  
平町田町一電話五八番  
藤田女學校前  
(入院のお需めに應ず)  
(自炊の便あり)

### 和洋銅鐵金物問屋 久益屋商店

諸橋久太郎  
電話九九番

### 高久病院

平町田町(電話五二三番)

醫學士 高久忠  
新潟醫學士 赤羽清  
藥劑士 佐竹菊  
内科 小兒科 外科 花柳病科  
耳鼻咽喉科 レントゲン科